

誰かの世界が
広がるサービス

誰かの世界が広がる答えを。

世の中には、今この瞬間にも
生きづらさを抱えた誰かがいる。

誰かがあきらめかけた生き方に
私たちは、問いをもって向かい合う。

私たちが変えるのは、人じゃない。
その人を取りまく環境そのものだ。

多様に生きる人々の存在が、生き方が
あるがままに解き放たれるように。

UXの力で、誰かの世界が広がる答えを。



日々の困りごとから、もしものときの支援まで。 私たちのサービスが、一人ひとりの力になります。



アシストガイド

知的・発達障がいのある方の
生活サポート



うごくま

フレイル対策をして
健康寿命を延ばす



あんしんフィルター

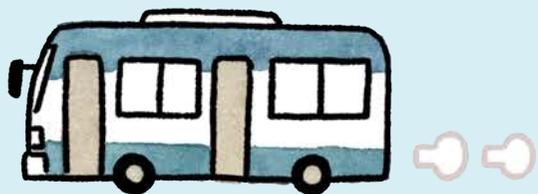
危険なアプリや
Web サイトから子供を守る



緊急速報メール
災害用伝言板

災害に遭ったときの
情報の確保や安否確認

アシストガイド



いつもの行動、みえるで支える。 できなかつたを、できるに変える。

毎日の習慣なのに、準備や身だしなみに時間がかかったり。
いつもと違う環境へ行くと、パニックになってしまったり。
順序立てた行動や変化への対応が難しい、知的・発達障がいの子どもたち。
でも、それは、まわりとちょっと違った特性があるだけで、
改善・解決していくことは可能です。
『アシストガイド』は、やることややりかたを視覚化し、
日々の活動を支えるアプリ。
視力の悪い人がメガネやコンタクトを使うように、
全体像がみえる工夫で、本来の力を発揮できるようアシストします。



やること・やりかた、みえる化。 可能性を広げてやる気もアップ

障がいのあるお子さまについて
こんな困りごと、ないですか？

忘れものが多い、仕度が遅い。
時間がなくなる悪循環。

電車やバスで移動できたら。
毎日見守りも難しいし。

ホワイトボードに
やることを書いても、
風景化して続かない。



ふだん使っているグッズや写真、イラストに、解説をつけて登録するだけ。「おたすけメモ」から、その日の“やること”“やりかた”“行きかた”“持ちもの”が、パッと目でみてわかるアプリです。記憶力や注意力、言葉の理解が難しいお子さまでも、先の見通しが立つことで安心して行動へ。保護者さまの負担もなくなり、親子にゆとりが生まれます。

ひと目でわかってゲーム感覚
みずから進めていけて自信まで



手順を直感的に
楽しくアシスト



写真やメモは
簡単自由に編集



クリアする達成感や
ごほうびも



アラームやタイマーで
お知らせ



アシストガイドでできること

やる事がリストでわかる

準備、手洗い、かばんの整理など。今日の予定をみえる化して行動につなげられ、スケジュール管理も簡単です。



手順に沿って進められる

やることや公共交通機関の移動の仕方を確認。ステップ通りに進めるだけでスムーズに、活動の場を広げます。



モチベーションが生まれる

完了すると音が鳴ってキラキラ。次の過程へ移りやすく、ゴールをクリアするとごほうびがもらえる設定も。



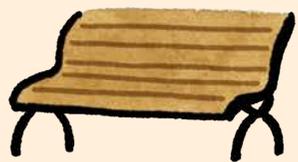
こんな想いでつくりました

アプリの支援で、
自己実現・社会参加を
応援していきたい。



まったくのゼロからの企画。知的・発達障がいの方たちの困りごとや、適切な支援を具体的に探究することからはじめました。当事者や保護者、支援者の勉強会に通いつめ、香川大学の坂井聡・宮崎英一教授と実証試験も。一人でやれて驚いた、表情が明るくなった、子供の世界が広がった、という感謝の声も寄せられています。このアプリで作った手順は、誰もがわかりやすいので、通常学級の児童や高齢者、外国人の方にも役立つもの。支援があればできるという経験は、自信にもつながります。ご本人のやりたいことを実現し、QOLをさらに高めていただけるよう、アプリの機能拡充や利便性向上を続けていきます。

うさぐま



いつまでも、元気なこと。 健康なまま生きていくこと。

長く生きるも大切だけど、ずっと、元気に生きるも大切。

これからは、健康な状態から要介護状態に至る手前の

「フレイル」と呼ばれる状態を防ぐことが重要です。

対策と改善のポイントは日頃の運動。

とくに、歩行はいつでも誰でもはじめられる対策ですが、

一人ではなかなか続けられない悩みもあります。

『うごくま』は、そんなシニアを応援する、ウォーキングアプリ。

持ち歩くだけで、歩数や距離、消費カロリーを記録するだけでなく、

モチベーションを高める工夫によって、

ウォーキングを無理なく習慣化していきます。



ウォーキングを習慣化。 ずっと、アクティブな人生を。

歩かなくちゃではなく、歩きたくなる。必要最小限の機能で、誰でもかんたんに使いこなせる。シニアの声を活かして生まれた、ウォーキングアプリです。“うごくま”がどんどん話しかけてくれるので、やる気がアップ。日々の運動がスグにひと目でわかるほか、質問に答えるだけで、今のフレイルリスクや改善ポイントもわかります。

加齢対策の日々のあれこれ
こんな悩み、ないですか？

運動はがんばるよりも、
無理のない習慣にしたい。

歩くのはいいこと。
でも、ついサボってしまう。

健康寿命を延ばしたい。
いつまでも元気でいたい。



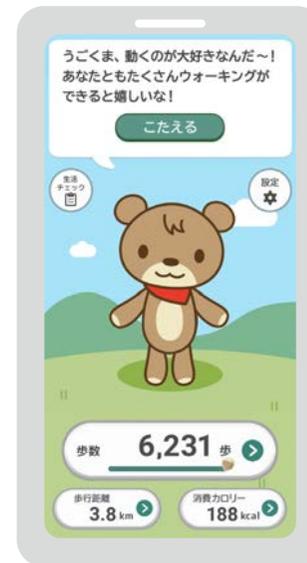
会話と記録でシニアを応援
無理なく楽しく、歩くが続く



“うごくま”が
励ます、褒める



みやすく
わかりやすい



持ち歩くだけで
ラクラク記録



必要な機能だけを
シンプルに

うごくまでできること

楽しい会話で続けられる

褒めたり励ましたり、ときにはクイズも。“うごくま”との楽しい会話が、日々のウォーキングを継続できるポイントです。



かんたんにリスクがわかる

10個の質問に答えるだけで、今のフレイルリスクを確認。改善に向けたコメントも表示されます。



データを確認できる

設定した目標歩数や、歩数・歩行距離・消費カロリーを表示。達成日が「どんぐり」でひと目でわかり、やりがいにつながりま



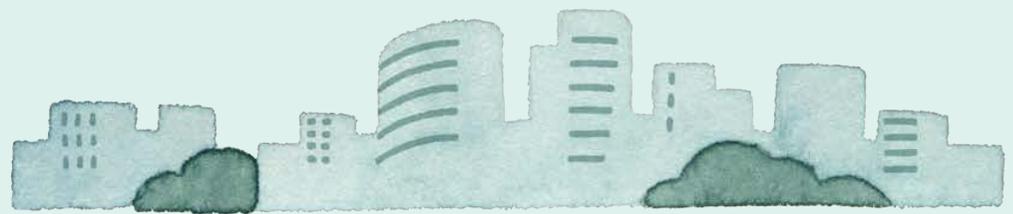
こんな想いでつくりました

高齢者が前向きに、いきいきと自活できる未来を目指して。



スマートフォンを楽しみたい。でも、うまく使いこなせない。そんなシニアの視点で生まれた、健康増進アプリです。150名以上のインタビューやテストの結果、細かいデータの表示よりも運動結果に対するコメントが好評だったため、コメントに関する機能を中心につくりこみました。体験会では多くの方にフレイルやウォーキングの意識向上がみられ、運動の継続化へ。フレイルの専門家、筑波大学の山田実教授にも監修をご協力いただいています。このアプリから自活するシニアが増え、健康寿命の延伸に貢献できればと思います。

あんしんフィルター



子供の好奇心はなくさない。 トラブルはなくしていく。

好きなことへの探究や勉強、お友だちとのやりとりや
祖父母とのリモート会話など。

スマートフォンは、知識や創造力、コミュニケーション能力を育み、
お子さまの可能性を広げるツールです。

一方、インターネット犯罪に巻き込まれるケースは、年々増加。
こうしたトラブルを未然に防ぎ、使い過ぎも調整するのが、
『あんしんフィルター』です。

スマートフォンのメリットはそのままに、
安心・安全・適切にご利用いただくためのお手伝いをしていきます。



危険なサイトやアプリ、 使い過ぎを上手にコントロール。

お子さまのスマートフォン利用
こんな心配、ないですか？

一日中スマホばかり。
うまく調整していきたいけれど。

どんな使いかたをして、
どんなものをみているんだろう。

SNSトラブルや
インターネット犯罪。
うちの子は大丈夫？



大人ならわかることでも、子供には判断のつきにくい、有害サイトやアプリ、不適切コンテンツの数々。それらをお子さまの状況に合わせてブロックし、スマートフォンの利用時間も自由に決められる、フィルタリングサービスです。保護者さまのデバイスから、いつでもどこでもかんたん設定。どんな使い方しているのかを見守れます。

一人ひとりに合わせて
閲覧内容も時間もカスタマイズ



学齢・知識
判断力別に制限



時間や場所を
問わず管理



使用時間に
メリハリを



利用状況^{※1}や
位置情報^{※2}を確認

※1iPhone・iPadはウェブ閲覧履歴のみ。 ※2iPhone・iPadはご利用いただけません。

あんしんフィルターでできること

状況別に制限できる

年齢・知識・判断力別に4種類の強度をご用意。お子さまのリクエストに合わせて個別許可も可能です。



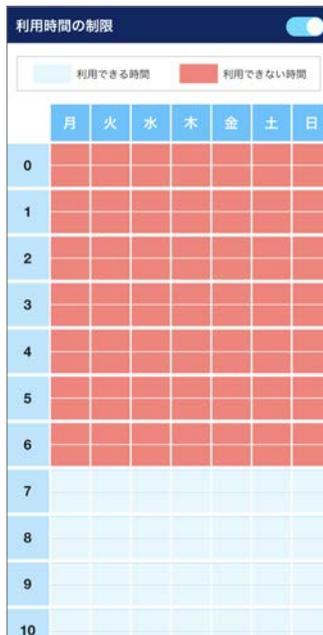
ウェブフィルタリング68種類から選べる

簡易設定のほか、きめ細かいカテゴリ設定も。お子さまの興味や必要に応じてカスタマイズできます。



利用時間を決められる

約束した時間以外は使用不可に。かんたんな設定で使い過ぎを防ぎ、メリハリをつくれます。



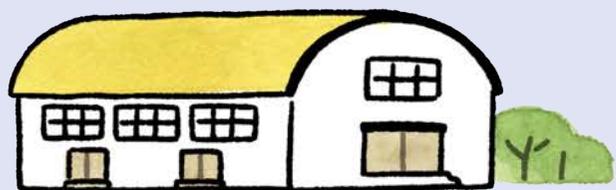
こんな想いでつくりました

お子さまは安全に、
保護者さまは便利に。
定期的に見直し対応。



「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が改正され、未成年者がスマートフォンを契約・使用する際は、フィルタリングの設定・利用が必須となりました。お子さまをインターネットに潜む危険から守り、安心して使えるように。保護者さまはその状況を確認し、設定・変更しやすいように。定期的に応用や管理サイトのデザイン、使い勝手を見直し、新しいサービスや技術に即時対応。不具合を起こさないよう、24時間365日体制で保守運用しています。

緊急速報メール・災害用伝言板



災害国ニッポン。 24 時間 365 日、安全も安心も。

地震や津波、台風や大雨による洪水や土砂災害、豪雪など。

自然に恵まれている日本は、自然災害が多い国でもあります。

これらを克服することは難しくても、危険から身を守り、

不安を解消することはできるから。

『緊急速報メール』と『災害用伝言版』は、ほぼ誰もが携帯している

スマートフォンから、災害情報や安否情報を知るためのサービス。

一人ひとりの手もとに、いち早く確実に、安全と安心をお届けします。



アシスト
ガイド

うごくま

あんしん
フィルタ―

緊急速報メール
災害用伝言板

緊急時の今すぐ知りたいを、 手もとから確実に。

自然災害に遭ったとき
こんな不安を抱えてしまうかも？

通信が繋がらない。
家族はどうしているだろう。

今どんな状態？
うちの避難エリアはどこ？

私の安否を伝えたいけど、
自分のことで精一杯。



今いるエリアの地震の発生、災害情報やいのちを守る方法を、いち早く確実に受けとれる『緊急速報メール』。回線が混雑してつながりにくなる災害時、自分の状況をメッセージに残して、安否を確認し合える『災害用伝言版』。もしものときに、いつものスマートフォンが、心強い味方となります。

起きる前も、起きた後も
欲しい情報を一人ひとりに

緊急速報メール



危険情報・行動
避難場所を表示

災害用伝言版



大切な人の安否を
把握できる



緊急速報メール



速報は音や
バイブレーションで

災害用伝言版



キャリアも
デバイスも問わない

緊急速報メール・災害用伝言版でできること

緊急速報メール

危険をキャッチできる

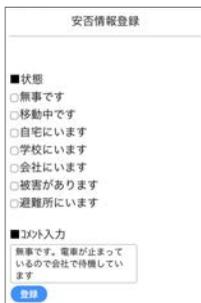
初期設定をしなくても、対象エリアの情報を入手。取るべき行動や避難場所がわかります。



災害用伝言版

安否を確認できる

自分自身の現状を選ぶだけでかんたん登録。細かい内容は全角 100 文字以内でメッセージを残せます。



緊急速報メール

確実に受けとれる

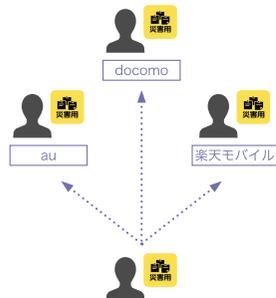
ふだんのパケット通信とは、異なる通信方式を使用。災害時でも確かな情報を受信できます。



災害用伝言版

必ずつながれる

携帯電話やスマートフォン、通信キャリアやデバイスを問わず、安否を発信・把握できます。



こんな想いでつくりました

誰もが大変なときこそ、
いちばん寄り添える
存在でいたいから。



世の中の各種災害対応サービスと違って、この2つは docomo・au・楽天モバイル共通仕様。どんなスマートフォンユーザーでも、迷わずお使いいただけます。混乱時でもスムーズにご利用いただけるよう、日頃から各キャリア間にて緻密にコミュニケーション。災害地域に迅速かつ間違いなく送信するため、ネットワーク設備関係者と密な連携や試験確認も行っています。大変なときこそ寄り添いたい。そんな想いで、災害発生予測や通信の技術の進歩に合わせた、サービスの向上・改善に取り組んでいます。

アシストガイド

<https://www.softbank.jp/mobile/service/assistguide/>

https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2020/20201027_02/

緊急速報メール

https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/

あんしんフィルター

<https://www.softbank.jp/mobile/service/filtering/anshin-filter/>

災害用伝言板

<https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/boards/>

うごくま

<https://www.ymobile.jp/service/ugokuma/>

https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20230322_01

https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20220705_01

ソフトバンク株式会社

プロダクト本部 UX 企画統括部

GRP-ux-design@g.softbank.co.jp

Copyright © 2023 SoftBank Corp. All Rights Reserved.

この資料の二次利用や二次加工、当資料に含まれる情報やデータの複製、変更、修正、翻案などの行為を固く禁じます。また、当資料の内容やデザインの一部もしくは全部を、許可なく他の文書やプレゼンテーション、ウェブサイト、アプリケーションなどに転用することはお控えください。